

SLCPイメージング分光計(APOLLO, uvSCOPE)

Imaging Spacrometer for SLCP observation (APOLLO, uvSCOPE)

*笠井 康子¹、大気化学会 大気環境衛星検討会委員会²

*YASUKO KASAI¹, JSAC Satellite committee²

1. 情報通信研究機構 テラヘルツ研究センター、2. 日本大気化学会

1. National Institute of Information and Communications Technology (NICT), 2. The Japan Society of Atmospheric Chemistry (JSAC)

短寿命気候汚染物質SLCPは大気汚染と気候変動の双方に複雑に関係している。CO₂と比較し削減効果が短期的に得られるため、地球温暖化対策の新たな手法として、国際的な取り組みが始まっている。また、WHOレポートによると、大気汚染に起因する死亡者数は世界で370万人程度と報告されている。これは交通事故死者数の約3倍に相当し [世界保健機関 (WHO), 2014], ますます深刻さは増している。本ミッションの目的はSLCP排出削減に向けたインベントリ把握である。SLCPは排出源が局所的であり、実態把握のためには高水平分解能の観測が必要となる。従来と比較したミッションの特徴は、低軌道からの観測による水平分解能の向上 (目標: 水平分解能1-2km) と、UV/VIS/SWIR+MIR+MW分光観測シナジーによる地上付近SLCP物質 (特に健康被害に影響のあるオキシダント) の検出である。これにより、高精度で確度の高いSLCPインベントリ実態把握が実現する。(SLCP: short-lived climate pollutants: 対流圏O₃, NO₂, CH₄, CO, Aerosol (PM_{2.5}) など)

キーワード: SLCP、大気汚染、衛星

Keywords: SLCP, Atmospheric pollutant, Satellite